

# ダブル連結トラックの道内初走行について



北海道開発局ホームページへはこちらから。

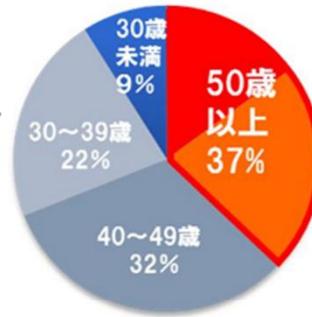


# ダブル連結トラックの概要

現状: トラック輸送は、深刻なドライバー不足が進行(約4割が50歳以上)



■特車許可基準を緩和し、**1台で通常の大型トラック2台分の輸送が可能な「ダブル連結トラック」の導入**を図り、トラック輸送の省人化を促進



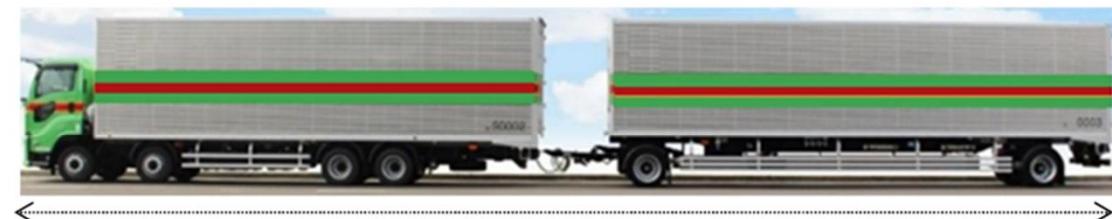
現在 通常の大型トラック



約12m



今後 ダブル連結トラック: 1台で2台分の輸送が可能



25mダブル連結トラック

特車許可基準の車両長を緩和  
(現行の21mから最大で25mへの緩和)

平成31年1月29日より新東名を中心に本格導入

# ダブル連結トラックの実験結果概要(省人化・環境負荷低減効果)

○同じ重量を輸送する場合、通常の大型トラックに比べ21m超車両は、ドライバー数が約5割の削減となり省人化効果が発現し、燃料消費量・CO2排出量も約4割削減。

## ■車両諸元

<大型トラック(12m車両)>



<ダブル連結トラック(21m車両)>



<ダブル連結トラック(21m超車両)>



車両諸元	大型トラック	21m車両	21m超車両
長さ (m)	<u>11.98</u>	<u>20.98</u>	<u>24.98</u>
高さ (m)	3.78	3.78	3.78
幅 (m)	2.49	2.49	2.49
最大積載量 (t)	13	24.1	25.9
対象車両	大型トラック	21m車両	21m超車両
平均輸送量	10.9t	16.8t	22.0t
千t・kmあたりの必要ドライバー数	0.35人	0.23人	0.18人
千t・kmあたりのCO2排出量	56.6kg-CO2	39.1kg-CO2	32.0kg-CO2
千t・kmあたりの燃料消費量	21.6L	14.9L	12.2L

## ■省人化(千t・km当たりの必要ドライバー数)

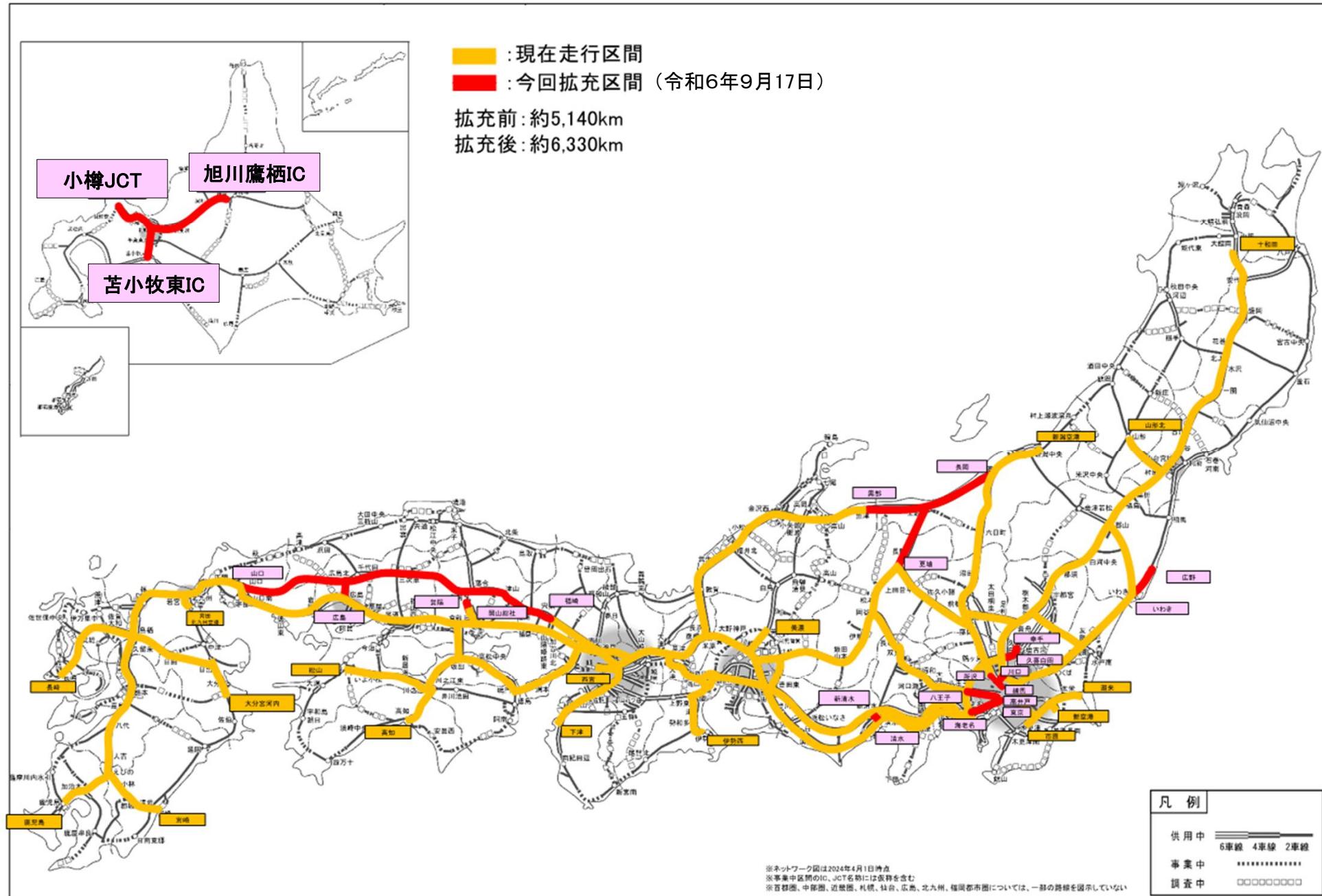


## ■CO2削減効果(千t・km当たりの排出量)



出典:福山通運(株)乗務記録表(H29.10月～H30.7月)  
ヤマト運輸(株)乗務記録表(H29.11月～H30.7月)  
日本梶包輸送倉庫(株)業務記録表(H30.2月～H30.7月)  
西濃運輸(株)業務記録表(H30.4月～H30.7月)

# 令和6年度に拡充した通行区間(全国)



# 道内で走行開始予定の区間

○11月時点で2社からの申請を受け付けており(1社には21日に許可証発行済み。もう1社は審査中)、今後、札幌IC～旭川鷹栖IC間において、**道内で初めてダブル連結トラック(21m超車両)が走行開始予定**。

ダブル連結トラック (21m超車両)  
走行開始予定区間  
札幌IC～旭川鷹栖IC間



▼道内で走行開始予定のダブル連結トラック (21m超車両)

